

誰もが安心して暮らせる まちの実現に向けて

この実現に向けて皆さんに知ってほしいことを紹介します。

【問合わせ】生活援護課 ☎ 84-0655

その1 “社会を明るくする運動”

“社会を明るくする運動”は、地域社会が犯罪者や非行をした人の立ち直りを支援し、更生保護に対する理解と協力を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

7月は“社会を明るくする運動”の強調月間です。



▲第72回“社会を明るくする運動”総理大臣メッセージ

その2 多くの人を救済していた「榊原弱者救済所」をご存じですか？



▲榊原弱者救済所記念碑

明治から昭和初期にかけて30年にわたり、1万5千人もの社会的弱者を救済した施設「榊原弱者救済所」が半田市の鴉根の丘にありました。

この救済所で暮らしていたのは、刑期を終えたが行き場のない出所者、貧しさのため捨てられた子ども、重病や障がいが原因で家を出された老人たちであり、民営としては、日本初、日本最大のものと言われています。平成25年には記念碑が移築されました。



▲榊原弱者救済所物語

その3 保護司をご存じですか？

「保護司」は社会復帰を支援する更生保護ボランティアです。保護司は、犯罪や非行により「保護観察」を受けることになった人の生活を見守り、さまざまな相談に乗るなどの支援をしています。

保護司活動体験談 半田保護区保護司会

窃盗を繰り返し、何度も受刑している80代女性Aさんの担当となりました。Aさんは、刑務所出所後に単身生活を始めました。高齢で仕事ができず、コロナ禍で外出もままならない中、毎日1人自宅で過ごすAさんが孤独を感じ、孤立してしまうことがないよう、寄り添い、良き話し相手となるよう面談を行いました。また、自宅から徒歩5分程のところに居住する息子夫婦に、Aさんの自宅への訪問や買い物、身の回りの世話などへの協力をお願いしました。さらに、息の長い支援につながるよう、地域の関係機関と連絡を取り合うことで、Aさんは地域の中で他者とのつながりを強く感じながら、日々穏やかに生活し、無事に保護観察期間の満了を迎えました。

近年、高齢者の孤立が大きな社会問題となっています。保護司は社会復帰を目指す人たちが地域社会の一員として取り残されることのないよう、寄り添い、孤立を防ぎ、安心できる居場所を見つけることを手助けし、ひいては地域の誰もが生きやすい社会を目指して活動を続けていきます。

半田更生保護サポートセンターでは、犯罪や非行からの立ち直りを目指す人たちを支援しています。
半田更生保護サポートセンター（市役所2階）
平日10時～16時 ☎ 84-0683